

短期

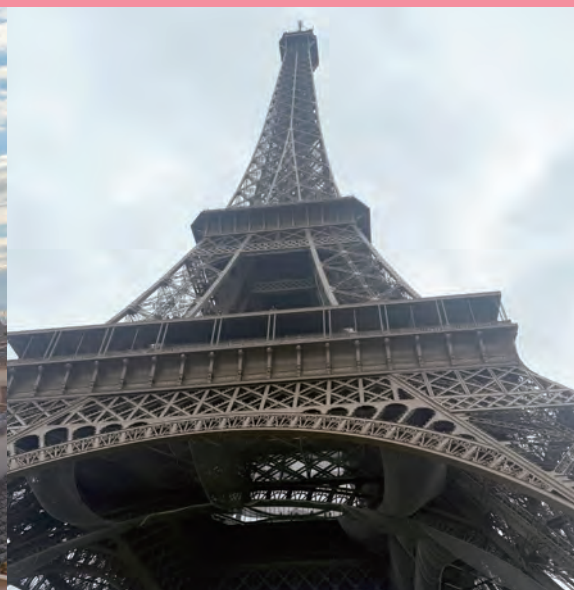
現地で学ぶ初修語セミナー

B-4

トゥールーズ大学 ジャン・ジョレス校

フランス

トゥールーズ

参加費用
(目安)

65～79 万円

本学支援金
約16万円適用後

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

留学期間(日本発着)

2027年2月27日(土)～3月24日(水) 26日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ ホームステイでフランス語力UP!
- ▶ 日本語を学ぶ現地学生との交流あり!
- ▶ 帰国時にパリ泊(2泊3日)あり!

都市・大学紹介

都市	トゥールーズはオート＝ガロンヌ県北部に位置し、独特の建築的外観を持つ建物が多いことから、別名「バラ色の都市」(la ville rose)と呼ばれる。トゥールーズ大学を中心とする学園都市。
大学	1229年設立。特に文学関係に著名な研究者が多く、言語学、外国語教育においてフランス有数の国立大学。1985年に日本語学科が設置され、日本に対する関心も高い。

スケジュール

出発	フランス・トゥールーズへ(乗り継ぎあり) 【航空会社】エールフランス・オランダ航空
滞在中	・フランス語講義 ・トゥールーズツアー ・大学施設を使っでの自学自習 ・フィールドトリップ (Occitania) ・フランス語学力テスト (TCF) ・Farewellパーティー ・帰国時パリ泊 (2泊3日・フリータイムあり)
帰国	日本へ(乗り継ぎあり)

形態	カスタム型(本学単独のプログラム)	人数	12～36名 ※書類選考にて参加者を決定
滞在	ホームステイ(2～3名/1家庭) ※P.32「14. ホームステイ」承諾事項も確認すること。		
食事	平日2食・週末3食・学食ランチチケット(平日3週間分)	単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件：なし(語学カスコアは任意提出) ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：ETIAS(電子渡航認証)の取得が必要になる可能性有 パスポート有効期限：シェンゲン圏出国+3か月		

その他 【研修言語の単位読み替えについて】

以下の対象学生は、本コース参加により授与される単位科目を「研修言語の単位」に読み替えられる制度があります。(対象：国際関係・文・産業社会・経済学部2年生以上で、フランス語コミュニケーションコース履修者のみ)
なお、複数回「現地で学ぶ初修語セミナー」に参加した場合、読み替えは1度のみとなります。申請方法は、合格後のガイダンス等で案内します。

プログラムの特徴

- 語学学習と国際的視野を養う、海外留学の入門プログラムです。社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする講義をフランス語で受講し、フランスに対する理解を深めます。
- 文法を学びながら会話やリスニング力も高めていきます。フランスでの生活やトゥールーズ近郊のフィールドトリップ等を通じて異文化を体験し学びます。講義・フィールドトリップなどを通して、日本語を学習している現地学生(チューター)とともに行動しますので、現地学生との交流を深める機会が多くあります。フィールドトリップはオクシタニー地方を予定しています。最終週には、TCF(フランス語学力テスト)を受験します。
- プログラム終了後の帰国時にはパリ泊(2泊3日・フリータイムあり)を予定しています。

報告書／参考資料

